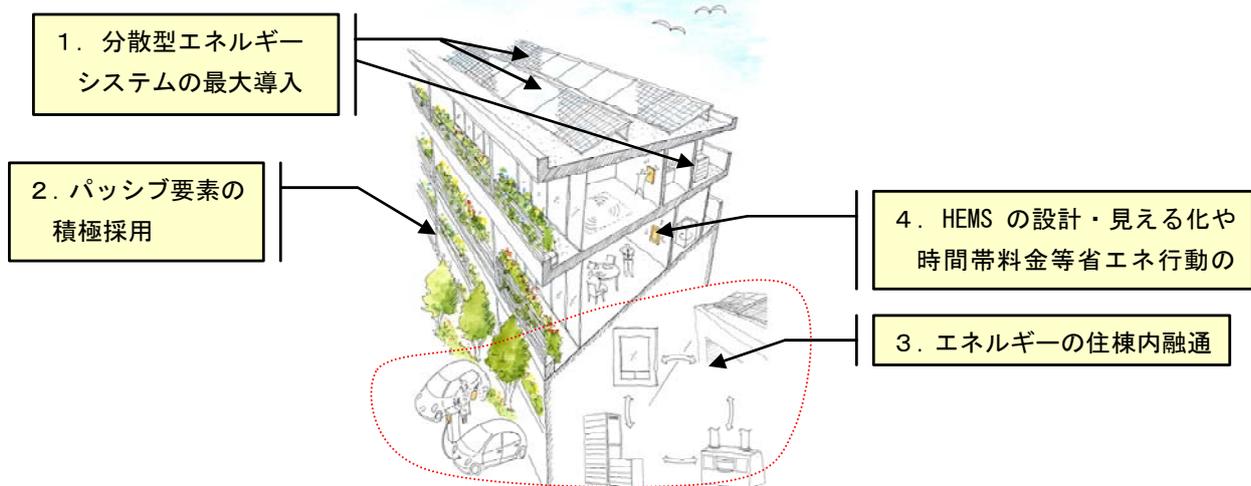


NO 11	集合住宅版スマートハウスによる 低炭素技術の実証	東京ガス株式会社		
提案概要	環境負荷低減と快適性・利便性を両立させるため、建物へのパッシブ要素の採用、再生可能エネルギーや燃料電池等分散型システムの積極採用に加え、実生活下で熱・電力の住棟内融通による効率化、エネルギーの見える化・家電制御・居住者の省エネ行動インセンティブといった省エネライフスタイルの実証を通じて、都市部で比率の高い集合住宅の低炭素技術、ライフスタイルについて、住宅関連事業者や自治体に対して訴求を目指す。			
事業概要	部門	技術の検証	建物種別	住宅(共同住宅)
	建物名称	磯子スマートハウス(磯子社宅第3号棟)	所在地	神奈川県横浜市
	用途	共同住宅	延床面積	3,212 m <sup>2</sup>
	設計者	株式会社NTTファシリティーズ	施工者	未定
	事業期間	平成22年度～平成24年度		

**概評** 集合住宅での利用が難しかった再生可能エネルギーや燃料電池等について、住棟内で電力や熱を融通することによる効率的な運用方法のほか、見える化やダイレクトプライシング等による居住者の省CO2行動の促進等について検証する興味深いプロジェクトとして評価し、「技術の検証」として選定した。今後、提案技術の展開に向けたビジネスモデルの構築を期待する。また、電力・熱の融通を考慮した省エネ行動のあり方を模索することも期待したい。

参考図 ■プロジェクト概要



■HEMS見える化画面のイメージ



- ①トップ画面では、電力消費量を表示。時間帯別のエネルギー料金を表示することで、環境にやさしい消費行動を誘導する。
- ②各住戸でのエネルギー使用量をグラフで表し、消費行動の効果を自覚できるように工夫する。
- ③他の住戸との比較により、省エネに対するモチベーションアップを図る。